

自作教具の活用事例

【作品名】 手づくり絵本 「かまきりとかげろうのお話」 「サンタさんの小さいころのお話」	【学校名】 日立市立櫛形小学校
【活用できる領域・教科等】 ことばの学習(カ行音・サ行音の練習)	【制作者名】 小貫 ひろみ
【制作の意図】 サ行音・カ行音がたくさん出てくるお話の絵本なので、構音指導の段階で楽しんで音読し、ことばの練習ができる。	【使用の方法】 一人一冊で使う。 会話文があるので役割を決めて、読み分けをして読んでもよい。また、指導者と段落読み、一文読みをしてもよい。
【制作上の工夫】 子どもたちが、読みやすいように文字の大きさ、文節ごとに間を開ける、物語をイメージしやすいようなイラスト、また、読み進める中で自分でイラストを書き込めるように空白の部分をつくった。 行間を空けることで、音読の記号を書き込める。	【見取り図】 サンタさんの小さいころのお話 サンタさんが、ちいさいころの おはなしです。 サンタさんは、 なきむしで よわむしの こどもでした。 おかあさんが すこしだけ るすにしても さびしくて なきました。 すなあそびで くつに すなが はいっても なきました。 さんぽを していて てんとうむしが おかあさんの  句点の後は2マス、読点の後は1マス空けるようにする。 ことばの句切りを使って、練習者がイラストを描き加えられるようにスペースを空ける。 A4縦書き
【写真】 	【使用効果と応用発展】 1対指導者または、2対指導者、1対1で活用できる。 読みの練習を進める中で、助詞の使い方や接続詞の使い方にも身がつくようになってくることが期待できる。
【材料・材質・部品等】 色板目用紙(表紙・裏表紙) A4用紙(本文・背表紙用) イラスト(話に合うもの)	